

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年6月14日(2018.6.14)

【公表番号】特表2016-517326(P2016-517326A)

【公表日】平成28年6月16日(2016.6.16)

【年通号数】公開・登録公報2016-036

【出願番号】特願2016-502701(P2016-502701)

【国際特許分類】

A 6 1 G 13/12 (2006.01)

A 6 1 B 1/24 (2006.01)

A 6 1 C 17/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 G 13/12 B

A 6 1 B 1/24

A 6 1 C 17/10

【誤訳訂正書】

【提出日】平成30年5月7日(2018.5.7)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項12

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項12】

請求項11の類用リトラクション装置であって、前記前方バンパーは、前記フレームに比べて異なる材料を含み、前記バンパーは、より柔らかい、可撓性の、および／または、エラストマーの材料を含むことを特徴とする類用リトラクション装置。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0040

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0040】

装置100と同様に、フレーム202上に、一つ以上のバンパー238または拡大された部分が、設けられ得る。一実施形態において、そのようなバンパー238は、隣接するフレーム202とは異なる材料を含み得、例えば、フレーム202に対してオーバーモールドされた、より柔らかい、可撓性の、および／または、エラストマーの材料を含む。例えば、バンパー238は、0から約50、0～約25、または、約15のデュロメータを有し得る。舌ガード234は、同様に、フレーム202とは異なる材料で形成され得、バンパー238より硬い、デュロメータ特性を有し得る。例えば、舌ガード234は、約50～約100、約50～約90、または、約60～約80のデュロメータ硬さを有し得る。舌ガードは、可撓性および／またはエラストマーの材料を含み得る。